

令和5年第9回教育委員会議事録

開催日時 令和5年9月23日(水)
午前9時30分～午前10時45分

場所 楽習館多目的ホール

出席者 教育長 井上 正人
教育長職務代理者 加藤 正道
委員 高橋 洋一
委員 田口 理恵

事務局出席者 教育総務部長 千葉 靖志
学校教育部長 猪原 誠一
教育総務部副部長 井上 隆雄
学校教育部副部長 高橋 大祐
教育総務課長 柳町 貴栄
文化財保護課長 高山 治
学務課長 山内 修

指導課長兼小中一貫教育推進室長
和田 進

学校ICT推進課長 松本 啓介

教育総務課庶務係長 関根 郁也

○ 開会の言葉及びあいさつ 井上教育長

会議事項

1. 会議録の承認について

(1) 令和5年第8回教育委員会定例会分

【出席教育委員全員が承認】

2. 教育長諸報告について [別紙のとおり]

3. 議 題

議案第35号 [説明者 柳町教育総務課長]

八潮市入学準備金貸付審査会委員の委嘱について

八潮市入学準備金貸付審査会委員に別紙の者を委嘱したいので、八潮市入学準備金貸付条例施行規則(昭和47年教委規則第2号)第12条の規定により、議決を求める。

令和5年9月22日提出

八潮市教育委員会教育長 井 上 正 人

提 案 理 由 任期満了に伴い、この案を提出するものである。

【資料説明】

[質 疑]

なし

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

議案第36号 [説明者 柳町教育総務課長]

八潮市入学準備金貸付審査会委員の委嘱について

八潮市教育資金貸付審査会委員に別紙の者を委嘱したいので、八潮市教育資金貸付条例施行規則(平成元年教委規則第2号)第12条の規定により、議決を求める。

令和5年9月22日提出

八潮市教育委員会教育長 井上 正人

提案理由 任期満了に伴い、この案を提出するものである。

【資料説明】

[質 疑]

なし

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

議案第37号 [説明者 柳町教育総務課長]

八潮市立小中学校施設建設委員会委員の委嘱について

八潮市立小中学校施設建設委員会委員に別紙の者を委嘱したいので、八潮市立小中学校施設建設委員会規則(昭和57年教委規則第4号)第3条の規定により議決を求める。

令和5年9月22日提出

八潮市教育委員会教育長 井上 正人

提案理由 任期満了に伴い新たに委員を委嘱したいため、この案を提出するものである。

【資料説明】

[質 疑]

なし

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

議案第38号 [説明者 山内学務課長]

令和6年度当初八潮市立小・中学校教職員人事異動方針について

令和6年度当初教職員人事異動を推進するに当たり、別紙のとおり令和6年度当初八潮市立小・中学校教職員人事異動方針を定めたいので、議決を求める。

令和5年9月22日提出

八潮市教育委員会教育長 井上 正人

提案理由 令和6年度当初教職員人事異動について、八潮市教育委員会で基本方針を定めるため、この案を提出するものである。

【資料説明】

[質 疑]

○加藤教育長職務代理者

再任用教員の定年は何歳でしょうか。

○井上教育長

65歳です。

○高橋委員

女性教職員の管理職への積極的な登用に努めるとありますが、八潮市はどのような状況でしょうか。

●猪原学校教育部長

現在の本市の校長及び教頭の登用状況ですが、小学校は女性校長が2名、女性教頭が2名、中学校は女性校長はおりませんが、女性教頭が1名となっております。その他、教務主任・主幹教諭の立場も含めると女性教員の管理職が増えてきている状況です。また、管理職試験に合格しても子育てや家庭の事情により昇任を猶予することができる制度もできておりますので、この制度によりこれまでより多くの女性教員が管理職試験に挑戦するようになっております。

○高橋委員

八潮市は近隣と比較して女性管理職は多いのでしょうか。

●猪原学校教育部長

割合だと3割程度となっており、近隣と比較しても同じくらいの登用状況となっております。

○田口委員

猶予の制度があるとのことですが、猶予できる年数に上限はあるのでしょうか。

●猪原学校教育部長

基本的には3年間の猶予となりますが、申請をすることで延長することもできます。

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

議案第39号 [説明者 和田指導課長兼小中一貫教育推進室長]

八潮市いじめ対策委員会委員の委嘱について

八潮市いじめ対策委員会委員に別紙の者を委嘱したいので、八潮市いじめ対策委員会設置規則（平成27年教委規則第11号）第4条の規定により、議決を求めらる。

令和5年9月22日提出

八潮市教育委員会教育長 井上 正人

提案理由 任期満了に伴い、新たに委員を委嘱したいので、この案を提出するものである。

【資料説明】

[質 疑]

●田口委員

5名全員が再任ということですが、メンバーを変えない理由はあるのでしょうか。

○和田指導課長兼小中一貫教育推進室

過去2年間の任期中の取り組みにおいて、それぞれの立場から貴重なご意見をいただいております、本市では近年いじめの重大事態は発生しておりません。このようなこともあり、より一層取り組みを高めていくためにも再任とさせていただきます。

●田口委員

保護者の代表として委嘱される荻野委員はどのような方でしょうか。

○和田指導課長兼小中一貫教育推進室

いじめ対応を考えたときに、学校関係機関の連携した対応に加えて保護者の皆様の家庭でのご協力も欠かせないことから、保護者の代表者として中学校の保護者を委員として委嘱しているところでございます。

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

4. 各部課長報告・連絡事項

●千葉教育総務部長

(1) 令和5年第3回八潮市議会定例会一般質問について

教育総務部関係では、5名の委員から質問がございました。うち1名の委員は質問を取り下げることになったことから、4名の委員の質問に対して答弁を行いました。答弁内容については資料の通りでございます。

(2) 令和5年8月分「市民の声ボックス」の受付及び処理状況について

教育委員会への投書は1件ございました。各課からご報告申し上げます。

●柳町教育総務課長

教育総務課への投書は1件、内容は「学校の一般住宅向かいに設置された大型室外機の低周波音被害が一向に解消しないため、早急に対応してほしい」というものでした。匿名の投書のため業務の参考とさせていただいております。対応いたしましたして、該当と考えられる学校の室外機には防音壁の設置をさせていただいておりますが、今後も対策を検討していきたいと考えております。

●猪原学校教育部長

(1) 令和5年第3回八潮市議会定例会一般質問について

学校教育部関係では、9名の委員から質問がございました。うち1名の委員は質問を取り下げることになったことから、8名の委員の質問に対して答弁を行いました。答弁内容については資料の通りでございます。

(2) 市内小中学校の様子について

9月に入り学校でもコロナウイルスやインフルエンザが増加傾向となっており、複数の小中学校で学級閉鎖も発生している状況です。また、松之木小学校では修学旅行前に複数の学年で学級閉鎖が発生していたことから、臨時休校としてオンラインで授業を実施する対策を取り、修学旅行に備えたということがございました。

次に部活動関係ですが、9月27日より新人大会兼スポーツ大会の地区予選会が開催されます。人数の関係で合同チームを組んで参加する部活動があり、野球部が大原中学校と八條中学校、女子ハンドボール部が八潮中学校と大原中学校、サッカー部が八潮中学校と八幡中学校、以上の3つの部活動が合同チームとして参加いたします。

●柳町教育総務課長

(1) 八潮市立大瀬小学校校舎増築事業受託者の選定について

今回の選定はプロポーザル方式を採用させていただき、1次審査で書類選考、2次審査でプレゼンテーションを実施いたしました。書類が提出されたのは1社のみで、実施要領に定める基準点を越えたことから、当該1社を受託候補者として選定し審査結果を通知した後、9月1日に契約を締結いたしました。

今後のスケジュールですが、設計や申請等を行い12月頃には現場に入っただき、令和6年4月から新たに図書室が増築される予定でございます。

●小林社会教育課長（井上教育総務部副部長が代理説明）

(1) 令和6年八潮市成人式開催要領について

成人式につきましては、現在実行委員会を組織し企画や運営について検討しているところでございますが、第1回実行委員会において開催要領を検討し、第1部を八潮中学校、八條中学校、八幡中学校区、第2部を大原中学校、潮止中学

校区に分けて開催するとともに、中学校時代の恩師の先生からのビデオレターを流す等のプログラムにより開催することになりました。この内容につきましては、広報やしお12月号に掲載し周知を図ってまいりたいと考えております。

(2) やしお市民大学市民公開講座について

9月30日(土)八潮メセナ集会室において、獨協大学の高松教授による「「活気あるまちづくり」とその課題とは」と題する講演会を開催いたします。公開講座ということで、学生以外の一般市民の皆様も参加することができますので、周知を行っているところでございます。

●高山文化財保護課長

(1) 体験講座「昔の遊びツアー」の実施結果について

8月26日に開催した体験講座では、コマやめんこ、割りばし鉄砲、お手玉等の昔の遊び体験を行いました。

テレビゲームに慣れ親しんだ今の子どもたちにとって、創意工夫を凝らさなければならぬ昔の遊びは新鮮に映ったようで、遊びに熱中する子どもたちの姿が印象的でした。

当日の参加者は33名で、職員、資料館ボランティアの他、博物館実習中の学生4名で担当しました。

講座後のアンケートも概ね好評で、子どもたちにとって、遊びの変化を知る機会となったと考えております。

(2) 資料館講座「河川・用水ツアー」の実施結果について

資料館講座「河川・用水ツアー」は、第49回企画展「水のカタチー統べる・活かす・うるおうー」の関連講座として開催いたしました。

講座では、市内を流れる中川・綾瀬川・圀川・大場川の4河川と八條用水・葛西用水の2つの用水を取り上げ、前半は各河川・用水の起点から終点までを写真と動画で紹介し、後半は綾瀬川沿いを散策しながら伏越、懸渡井、水神碑、水塚

等の水に係る文化財の見学を行いました。当日の参加者は6名でございました。

参加された方々には、河川とうまく付き合い共生してきた先人の暮らしぶりを知り、地域理解を深めていただくことができたと考えております。

●山内学務課長

(1) 学校給食について

8月の定例会におきまして、「八潮市学校給食ビジョン（案）」について委員の皆様にご説明申し上げたところでございますが、その後、市役所庁内の組織であります庁議で説明を行ったため、市役所の職員も全容を情報共有している段階にあります。

そしてその後、9月8日から9月15日までの期間中に、市議会の正副議長及び各党派のもとに出向き、「八潮市学校給食ビジョン（案）」について説明したところでございます。

これにより市議会議員も全員、情報を共有したところでございます。

今後につきましては、まず10月10日（火）からパブリックコメントを実施したいと考えており、期間は11月8日（水）までの30日間とすることを想定しております。今回は、どの程度の方から意見をいただくことになるのか不透明ではございますが、できるだけ早期にまとめまして、年末の教育委員会定例会におきまして、そのパブリックコメントの結果を踏まえた「八潮市学校給食ビジョン（案）」を改めてご報告させていただきたいと考えております。

また、昨日閉会した市議会定例会におきまして、補正予算として上程しております、学校給食の加工費増額分につきまして、ご承認いただきました。

1食あたりの単価で43.13円の増額、対象の期間は、本年10月2日（月）から来年3月末の学校給食終了時まで、積算しますと、28,606千円の増額でございます。

●和田指導課長兼小中一貫教育推進室長

(1) 令和5年8月・9月 事件・事故報告について

事件・事故報告は4件、内訳は、迷惑行為が1件、交通事故による救急搬送が1件、校内での負傷が2件でございます。

2学期に入り落ち着いた状況が続いておりますが、暑い季節が終わることで子ども達が外に出る機会が増加すると思っておりますので、教育委員会では引き続き各学校及び関係機関との連携を図りながら対応させていただきます。

(2) 全国学力・学習状況調査の結果について

こちらは小学校6年生と中学校3年生を対象に実施しており、教科は小学生が国語、算数、中学生は国語、数学、英語となっております。

結果につきまして、全国平均との差で比較しますと、小学校では国語で全国平均を上回り、2教科の合計でも全国平均を0.2ポイント上回っております。

中学校では国語が全国平均との差が開いてしまいましたが、数学は全国平均との差が縮まり、3教科の合計でも全国平均に近づいてきております。

(3) 埼玉県学力・学習状況調査の結果について

こちらは小学校4年生から中学校3年生を対象に実施しており、教科は全国と同じものとなっております。

結果につきまして、小学校では2教科の合計で初めて県平均を上回りました。中学校では3教科の合計が県平均を下回っておりますが、これまでと比較し県平均との差は大幅に縮まってきております。県の学力調査では、学力の向上と学級経営が相関関係にあることが分かっております。例えば柳之宮小学校では、3年間同じ教員が担任をした学年において、算数が県平均よりも14.8ポイント上回っております。

先日の校長会において、学力を伸ばしている教員の良さや授業力を分析し、校内及び市内で共有していただくようお願いをしたところでございます。今後も継続して学力の向上を目指し、八潮スタンダードの更なる変革に向け、学校訪問等で指導してまいります。

(4) 八潮こども夢大学について

小学校5年生から中学校1年生を対象に実施しており、コロナ禍で2年間の中断をはさみましたが、今年度で10年目を迎えました。

昨年度は4大学にご協力をいただきましたが、今年度は6大学にご協力をいただけることになり、全6回の日程で開催を予定しております。教育委員の皆様には、ご都合が付くようでしたら10月10日(火)の開校式にご参加いただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

(5) 中学生英語弁論大会・音楽フェスティバルについて

中学生英語弁論大会につきましては、8月29日(火)に開催されました。

入賞者は資料に記載の通りとなっております、上位2名については9月13日(水)に埼玉葛地区大会に出場しましたが、入賞とはなりませんでした。

次に音楽フェスティバルにつきましては、9月2日(土)に開催されました。

各学校で発表した楽曲については資料に記載の通りです。今後も吹奏楽を含め様々なコンクールも開催される予定となっておりますので、結果は開催後に報告をさせていただきます。

●松本学校 ICT 推進課長

(1) 夏休み期間における GIGA 端末の活用状況について

GIGA端末については、各校の教育活動の一環として適宜家庭への持ち帰りが実施されているところですが、この夏休み期間において、GIGA端末の持ち帰りを実施し、宿題など課題の提出に活用された事例がありましたのでご報告します。

まず、ある小学校での活用事例ですが、夏休み期間中は全学年でGIGA端末を持ち帰り、従前の紙のドリルではなく、GIGA端末で使用できるデジタルドリルを用いた課題に変更したとのこと。また、持ち帰りがスムーズに行えるよう、夏休み前にGIGA端末の持ち帰りの練習を行って準備したとのことでした。

次にある中学校での活用事例ですが、こちらでも夏休み期間中は全学年でGIGA端末を持ち帰り、学年、教科ごとの既習内容の復習を中心にデジタルドリルに取り組んだとのこと。また、夏休み期間中の部活動で、暑さによる熱中症

等の危険のため屋外での活動ができないようになった際に、教室内でデジタルドリルに取り組んだ例も見られたとのことでした。

一方で、夏休みをはじめとする長期休業中の持ち帰りに関しては当然ながら懸念もあり、お聞きした意見としては、家庭での活用状況、インターネット閲覧などに心配がある。使用時間の約束を守ることができるか心配がある。G I G A端末の紛失・故障に心配がある。デジタルドリルには記述式の問題が少ないので、別途プリントを用意する必要がある。各家庭等により Wi-Fi の環境に差異がある。などとのことでした。

これらのご意見も踏まえつつ、学校 I C T推進課においても、長期休暇中のG I G A端末のより進んだセキュリティ対策などについて情報収集等を行うとともに、より発展的な活用方法について、G I G Aスクール通信等により、随時情報発信をしていきたいと考えております。

[教育長諸報告及び部課長報告・連絡事項の一括質疑]

○加藤教育長職務代理者

文化財保護課の体験講座「昔の遊びツアー」について、受講者に市外の方がおりますが、どのような形でこのツアーのことを知って参加されたのでしょうか。

●高山文化財保護課長

ツアーを知った経緯は直接確認しておりませんが、ホームページやツイッター(X)で周知しておりますので、そういったところで知っていただけたものと考えております。

○高橋委員

夏休み期間中にG I G A端末を持ち帰り、宿題など課題の提出に活用されたとのことですが、先生方はG I G A端末を使用して提出されることについてはどのような感想を持っているのでしょうか。

●松本学校 ICT 推進課長

G I G A端末により宿題を出すということで、単にプリント等の宿題の代替えということではなく、新たな学習方法の取り入れなども積極的にされております。

先日、授業支援ソフトの研修会に参加させていただきましたが、研修に参加された先生方からの事前の要望で、研修会のテーマが「反転学習」とされておりました。

反転学習は児童生徒が宿題により学習内容を予習してから授業を受けるというものとお聞きしており、この反転学習では、G I G A端末をより効果的に使用できるとのことでしたので、このような新たな教育形態も踏まえた活用方法が先生方にも広がりつつあるものと考えております。

○高橋委員

夏休みの宿題には自由研究もあると思いますが、G I G A端末を活用して提出した子どももいたのでしょうか。

●松本学校 ICT 推進課長

自由研究をG I G A端末で提出した例があったかは把握しておりませんが、例えば課題提出ということと言いますと、熱中症の危険回避などのため、あらかじめタブレットのカメラで描きたい風景の写真を撮って、その画像を参考に教室内で絵を描くといったこともされていたようです。

また、プログラミング教育についても、プログラムの命令を組み合わせて何か処理を行うということは、技術の授業で部品を組み合わせて作り上げるということとの共通点もあると思いますので、美術、図画・工作といった教科にも応用可能であると考えております。

●猪原学校教育部長

補足をさせていただきますと、現状では自宅でのG I G A端末による学習はドリル系しかできておりません。今後は発達段階に応じて子どもが自分で課題を考えて、端末を使いながら解決するという方法に移行していく必要があると考えております。

○加藤教育長職務代理者

学力調査について、3年間同じ教員が担任をした学年は学力が向上しているとのことでしたが、それ以外に学力を向上していくための取組みはございますか。

●和田指導課長兼小中一貫教育推進室

まずは各学校で結果を分析し、良い特徴を持っている先生の情報を共有する場を設定できるよう進めていき、学力の向上に取り組んでまいりたいと考えております。

○高橋委員

部活動の新人戦に合同チームで参加する種目もあるということでしたが、合同チームにしなければ試合に出られないほど人が少ないのでしょうか。

●猪原学校教育部長

合同チームで参加する種目は試合に出るための人数が足りていない状況です。現在は部活動への加入が任意となっていることから、幼少期からやってきた種目がある生徒は部活動へ加入することがありますが、それ以外の生徒は友達が入る種目に一緒に入るということもあるため、例えばバドミントン部に40名程の部員がいる学校もあるなど、種目によって人数に偏りがある状況です。

○加藤教育長職務代理者

クラブチームに所属しているため部活動には入らないということもあるのではないのでしょうか。

●猪原学校教育部長

サッカーや野球は市内及び近隣市に複数のクラブチームがあるため、部活動に加入せずクラブチームだけに所属するというところもあると思います。

○高橋委員

部活動の地域移行の話についても、具体的に協議していく必要があると思います。

○井上教育長

本市でも今年度から部活動の担当者を集めて会議を開催するなど、協議を進めていく予定です。

[教育長が定例会閉会の宣言をする]

会議終了。